

すずらん学級 生活単元学習（知）・自立活動（情）学習指導案

日 時：令和5年11月22日（水）公開授業Ⅰ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校すずらん学級1・2・3組 計20名

指導者：角掛 幸子 長山 章子 和田 真紀 菊池 光芳

1 単元名「あったか産直を成功させよう」

2 単元の目標

【生活単元学習】

- (1) 友達や先生、お家の人たちと関わりながら、楽しく活動する。
- (2) 体験したことや感じたことを言葉にして伝えたり、友達の考えを受け入れたりする。
- (3) あったか産直を成功させようという気持ちを持ち、意欲的に自分の役割を果たそうとする。

【自立活動】

- (1) 友達や先生、お家の人たちと関わりをもちながら活動に参加する。
- (2) 体験したことや感じたことを言葉にして伝えたり、友達の考えを受け入れたりする。
- (3) あったか産直を成功させようという気持ちを持ち、見通しをもって最後まで活動する。

3 単元について

(1) 児童について

すずらん学級は、知的障がい学級2クラス15名と、自閉症・情緒障がい学級1クラス5名、合計3クラス20名で、1年生から6年生までが在籍している。知的障がい学級では、教科学習等と関連付けながら、身に付けた力を発揮する場として、生活単元学習に取り組んでいる。自閉症・情緒障がい学級では、当該学年の教育課程に準じて学習を進めるとともに、学習や生活上の困難さの改善を図る自立活動を継続的に行っている。

本来は、それぞれの教育課程で学ぶ子どもたちであるが、児童の実態から、知的障がい、自閉症・情緒障がい学級に在籍する児童全員で活動する時間を設けている。自閉症・情緒障がい学級在籍児童は、小集団で活動する中で、困っているときに友達に聞き、得意なことは教えてあげることで自信を付けながら、望ましい対人関係のスキルを身に付けたり、自己肯定感を感じたりしながら生活している。一人ひとりの発達段階や学年に応じた時間割のため、全員が揃って活動する時間や内容は限られているが、上学年には下学年をお世話したり、お手本になったりしようとする姿が増えてきている。また、下学年には、リーダーになる憧れをもち、上学年をモデルとして行動しようとする姿がどの児童にも見られる。一緒に活動することで、仲間を意識し、友達のよさを認め合う学級を目指している。

児童は、何度も経験したことや得意なことには、意欲的に自分から取り組んでいる。一方で、新しいことや苦手なことへの取り組みは消極的な児童もいる。困った場面で、気持ちをうまく伝えられずに、不機嫌になったり、怒ったりして、落ち着いて活動ができなくなる児童もいる。

「やさいをそだてよう」や「あったか産直をひらこう（夏野菜編）」の小単元で、児童は、活動の様子や気付いたことなどを付箋用紙に言葉で書き表すことをしてきた。お家の人に伝えたい内容や場面を友達と相談して決め、友達のコメントや写真や絵を使いながら発表原稿を作ってきた。

(2) 単元について

本単元は、毎年、取り組んでいる活動であり、児童が期待をもって取り組む学習である。5月に「やさいをそだてよう」の活動で苗を植えた際、「また、あったか産直をやりたい」という言葉が出るほど、楽しみにしている児童が多く、生活単元学習の中心となる活動である。収穫した野菜や調理したスイーツを先生方やお家の方々に販売する産直を開くために取り組む活動の中で、生活に必要な力を付けたり、人との関わりを広げたりすることをねらいとしている。

また、活動したことを写真などで振り返り、どんな発表内容にするか友達と相談しながら発表原稿を作り、学習の様子をお家の人へ伝える発表会を開くことをゴールにしている。「やさいをそだてよう」「やさいをしゅうかくしよう」「あったか産直をひらこう（夏野菜編・スイーツ編）」の小单元ごとに発表の原稿を作ること、同じように学習を展開できると考える。

小单元ごとに活動後、付箋用紙に活動の様子や気持ちを記入する。グループごとに発表場面を考え、写真やみんなが記入した付箋を使いながら発表原稿を作っていく。友達と役割分担をし、一人一人の原稿をつなげることで発表原稿を仕上げていく。みんなの力で一つの物を完成させることで、友達と活動するよさを感じることができると考える。

(3) 指導について

児童が自分から行動できるように、小单元ごとの活動パターンを同じにする。繰り返し取り組むことで見通しがもてるようにさせたい。産直では、一人一人が役割をもち、人と関わりながら活動できるようにさせたい。発表会に向けては、体験したことを言葉で表したり、相手に伝えることを意識して話したりする力を付けたい。

発表はグループで行う。グループで発表内容を決めたり、発表場面を分担したりする過程で、児童同士が話す場面を意図的に設け、自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け止めたりできるように対話を繰り返し経験させたい。そのために、教師が児童の間に入り、児童の考えを引き出したり、言葉にしたりしながら児童同士をつなぐ支援を行う。グループは異学年で構成し、上学年はグループの発表全体に目を向け、よりよい発表にすること、下学年は、上学年に教えてもらうよさを生かし、意欲的に発表させたい。

ICTの活用については、発表原稿作りでタブレットを使用する。また、活動場面を振り返るために写真を見たり、お家の方々に発表したりする場面では電子黒板を使用する。

4 単元計画と評価（16時間）

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見ながら産直を開くまでの見通しをもつ。 活動のめあて、約束を考える。 産直を開くまでに必要な準備を考える。 自分の役割を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の「やりたい」気持ちを引き出すために、前回活動した写真を提示する。 めあてや約束を自分たちで考えられるようなグループを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 産直を開くまでに自分のすることが分かる。
2	<ul style="list-style-type: none"> さつまいもを収穫する。 付箋に感想などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷がつかないように芋ほりの仕方を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> さつまいもを収穫する。 付箋に感想を書く。
3 4	<ul style="list-style-type: none"> 店の準備をする。 ちらし、値札、飾りを作る。 さつまいもに値段をつける。 付箋に感想などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作の際は、お客様を迎えたときを意識して活動する。 値段付けができるように 100g の値段を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事に取り組む。 付箋に感想を書く。
5	<ul style="list-style-type: none"> 接客の練習をする。 呼び込み、チラシを渡す、値段の計算、品物やアンケートを渡す、注文を取る、飲み物を注ぐ、取材をするなどの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 接客の練習では、言葉使いや態度を考える場面を設ける。 本番に近い場の設定や物を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を練習する。
6	<ul style="list-style-type: none"> スイートポテト、大学芋を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで活動できるようにやる 	<ul style="list-style-type: none"> 役割が分かり、

7	<ul style="list-style-type: none"> 付箋に感想などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ことを明確にする。 安全に児童が調理できるようなグループを作る。 衛生面に気を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで取り組む。 付箋に感想を書く。
8	<ul style="list-style-type: none"> スイートポテトと大学芋のラッピングをする。 値段をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様が喜んでくれるように作業を丁寧に行うよう児童に確認をする。 衛生面に気を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事に取り組む。
9	<ul style="list-style-type: none"> 産直開店の準備をする。 店の装飾、商品の搬入、陳列をする。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様が喜んでくれるように作業を丁寧に行うよう児童に確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力して開店準備をする。
10	<ul style="list-style-type: none"> 産直を開店し、お家の方々に販売する。 付箋に感想などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事やお客様に喜ばれるような言葉遣い、態度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちのよい態度で接客をする。
11	<ul style="list-style-type: none"> 産直を開店し、先生方に販売する。 付箋に感想などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の反省を生かしながら、自分の仕事やお客様に喜ばれるような言葉遣い、態度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちのよい態度で接客をする。
12	<ul style="list-style-type: none"> 「あったか産直」の活動写真や活動後に書いた付箋の内容を見ながら、活動を振り返る。 グループで発表する内容や発表場面を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> お家の人に発表することを再度確認する。 場面ごとに分けて写真や友達の感想を提示する。 先生方やお家の方からの感想を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> お家の方に発表したい場面を考える。
13	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに、発表する内容や発表場面を分担する。 発表原稿の下書きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことをメモできるように学習シートを準備する。 児童の考えを引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿の下書きをする。
14 本時	<ul style="list-style-type: none"> グループで、発表原稿の内容について話し合う。 下書きを見ながら発表原稿を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の下書きについて、付箋メモなどを活用しながら話し合いを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と相談しながら発表原稿を作る。
15	<ul style="list-style-type: none"> 全体で発表原稿を見合い、修正、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとの発表で真似したいよい点を指摘する。 改善の視点を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿を改善する。
16	<ul style="list-style-type: none"> これまでに仕上げた原稿を全体発表する。 必要があれば、発表原稿を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> お家の人に発表することを意識付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の前で発表する。

5 本時の指導（14時間目/全16時間）

(1) 目標

【生活単元学習】グループの友達と相談しながら、発表原稿を作る。

【自立活動】グループの友達と関わりをもちながら、活動に参加する。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇対話に関する指導 ●評価
導入 5分	1 前時想起 2 課題把握	・前時までの学習を確認する。 【学習課題】 はっぴょうげんこうを作ろう。
展開 35分	3 解決の見通し 4 課題解決 (1)前時に考えた原稿の内容についてグループで話し合う。 (2)付箋の感想や写真，絵を取り入れながら発表原稿を作る。 5 学習のまとめ ・グループで出来上がった原稿を見合う。	・本時の学習の流れを確認し，学習の見通しをもたせる。 ・自分がすることを明確にする。 ・困難な場面を想定し，課題解決の方法を見通す。 ◇友達の原稿をよくする視点で，グループの友達と話し合いながら活動できるようにする。 ・必要に応じて，児童から考えを引き出したり，考えをまとめたりする。 ・入力の仕事は児童の実態に合わせる。(ICT活用) ・出来上がった児童の原稿をグループで共有する。(ICT活用) ◇友達の原稿について，感想を伝える。 ●【生活単元学習】グループの友達と相談しながら，発表原稿を作る。 ●【自立活動】グループの友達と関わりをもちながら，活動に参加する。
終末 5分	6 振り返り 7 次時の予告	・自分が頑張ったこと，友達のよかったところに視点を置き振り返る。 ・修正，改善することを伝え，意欲をもたせる。

(3) 板書計画

はっぴょうげんこうを作ろう。

学習①
グループの友だちと話し合う。

学習②
げんこうを作る。

学習③
友だちのげんこうを見る。

学習④
ふりかえりをする。

- ・ようすや思ったこと ふせん
- ・わかりやすい文
- ・見やすい もじやしんの大さき